

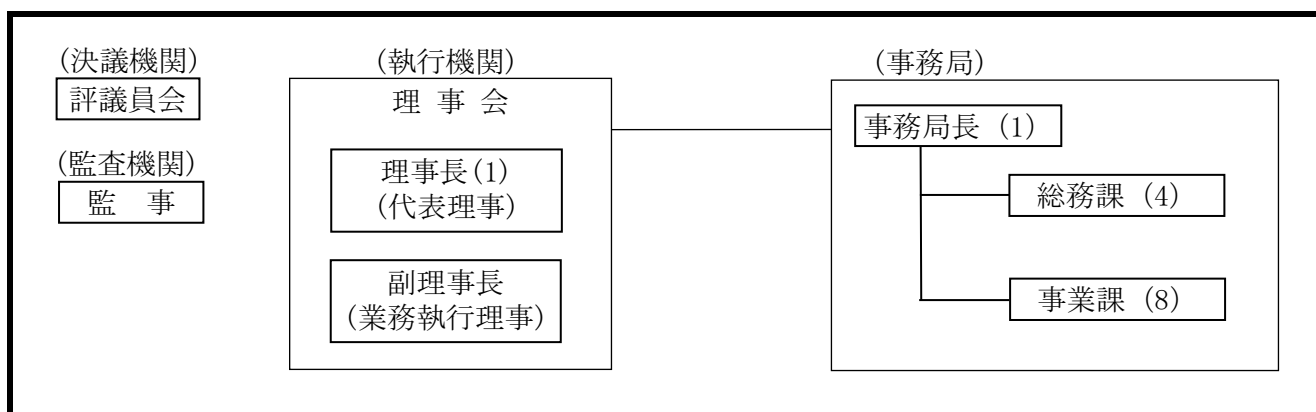
令和6年度 足立区勤労福祉サービスセンター 事業概要・収支決算説明書

1 概要説明

令和7年3月31日現在

名 称	公益財団法人 足立区勤労福祉サービスセンター
所 在 地	足立区千住一丁目5番7号 あだち産業センター2階
設立年月日 公益認定	平成2年4月2日 平成21年4月1日 公益財団法人
代 表 者	理事長 石鍋 敏夫
職員数（実員）	常勤7名（派遣7名） 再任用6名 非常勤（兼職）1名 合計14名
基本財産	5億円

2 組織機構図



3 令和6年度経営方針と重点事項

【経営方針】

- 1 会員に魅力ある事業の実施と満足度の向上
- 2 会員の加入拡大
- 3 事業の見直しによる健全な財政運営の継続

【主な公益目的事業内容】

- 1 生活安定事業
 - (1) カード・回数券
 - (2) 産地直送
 - (3) 指定店
 - (4) 生活資金融資斡旋
- 2 健康管理・健康増進事業
 - (1) 健康診断（委託）補助
 - (2) 人間ドック補助
 - (3) スポーツ施設等チケット
- 3 自己啓発事業
 - (1) 講座・教室利用補助
 - (2) 美術展チケット
 - (3) 歌舞伎等鑑賞教室
 - (4) 図書カード
- 4 余暇活動事業
 - (1) 遊園施設チケット
 - (2) 宿泊施設等利用補助
 - (3) 観劇コンサート等各種チケット販売
- 5 生活産業広報紙発行事業
 - 「トキメキ」発行

【その他の事業内容】

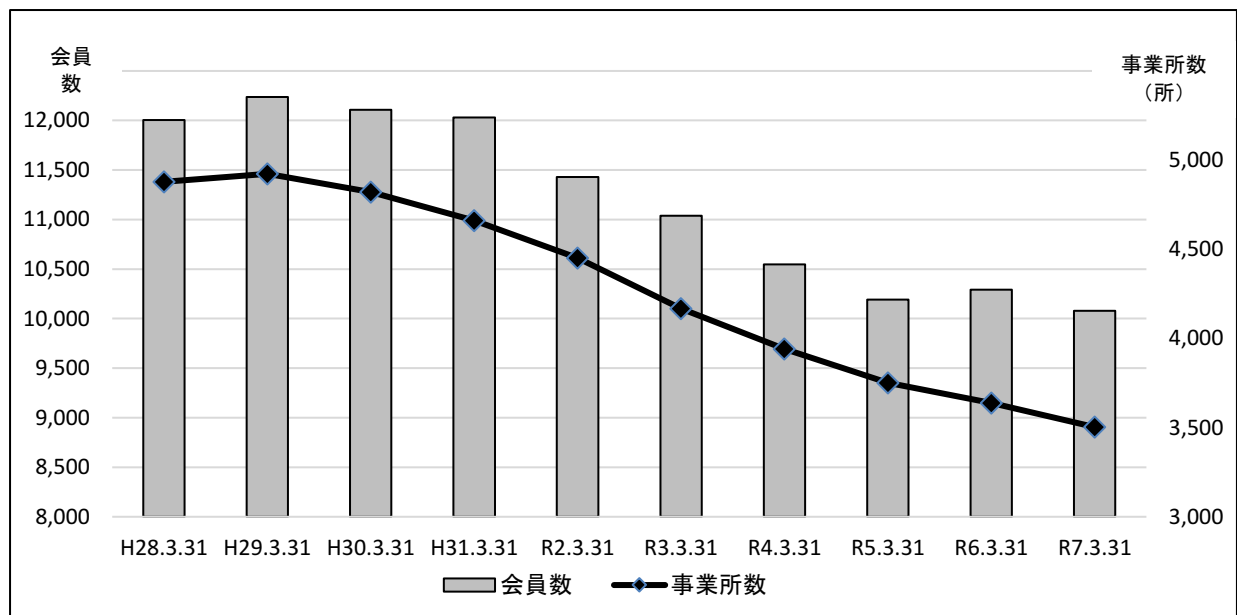
- 1 給付事業
 - 祝金・弔慰金等の給付

4 事業所数及び会員数の状況

4 事業所数及び会員数の状況

(1) 事業所数及び会員数

年月日	(単位：所)		(単位：人)			
	事業所数	増減数	会員数	入会数	退会数	増減数
H28. 3. 31	4,878	85	12,003	1,304	1,242	62
H29. 3. 31	4,923	45	12,236	1,490	1,257	233
H30. 3. 31	4,820	△ 103	12,107	1,139	1,268	△ 129
H31. 3. 31	4,661	△ 159	12,029	1,187	1,265	△ 78
R2. 3. 31	4,452	△ 209	11,429	1,135	1,735	△ 600
R3. 3. 31	4,167	△ 285	11,040	811	1,200	△ 389
R4. 3. 31	3,942	△ 225	10,547	878	1,371	△ 493
R5. 3. 31	3,751	△ 191	10,192	901	1,256	△ 355
R6. 3. 31	3,638	△ 113	10,291	1,272	1,173	99
R7. 3. 31	3,503	△ 135	10,079	903	1,115	△ 212



(2) 退会者の主な退会理由

(単位：人)

退会理由	令和5年度		令和6年度	
	人数	構成比	人数	構成比
退職	784	66.8%	741	66.5%
死亡	17	1.4%	27	2.4%
廃業・倒産	84	7.2%	77	6.9%
区外移転	35	3.0%	41	3.7%
年齢75歳以上	28	2.4%	0	0.0%
経費削減のため	21	1.8%	45	4.0%
他のサービスに加入	0	0.0%	1	0.1%
会費が高い	1	0.1%	3	0.3%
魅力がない	4	0.3%	11	1.0%
利用しない	144	12.3%	121	10.9%
その他	55	4.7%	48	4.3%
合計	1,173	100.0%	1,115	100.0%

(3) 令和6年度 会員数拡大に向けた取り組み状況

- ア 新規事業所での入会者を入会金無料・キャンペーン期間中の会費無料とする新規事業所入会キャンペーン（9月～令和7年3月）を実施した。
- イ より見やすく手に取りやすいよう、入会キャンペーンチラシをマンガ形式にリニューアルし、駅構内ラック・区内事業所等での配布、区内事業所団体等への訪問勧誘活動に活用した。また、ホームページ・SNS・トキメキ等での入会メリットの情報発信に努めた。
- ウ ビゅう商品券等の各種ギフトカード、キッザニア東京等の各種イベントチケットの販売、インフルエンザ予防接種費用補助、ルミネtheよしもと貸切公演の実施など、人気の高い福利厚生事業を積極的に実施した。
- エ 令和5年度は300人以上の大規模事業所の入会もあり会員数が増加したが、令和6年度は退会者数が入会者数を上回り、会員数は前年度比で212人減少し、10,079人となった。今後も取り組みを継続し、入会者数の増加に努めていく。

5 決算剰余金について

(1) 公益目的事業会計における剰余金の状況（令和5年度末現在）

会計年度	剰余金額	主な理由
令和2年度	3,473,901円	コロナ禍により実施事業が減少したため
令和3年度	4,553,329円	コロナ禍により実施事業が減少したため
令和4年度	3,252,161円	生活産業広報紙発行事業の広告収益が増加したため
令和5年度	3,000,686円	生活産業広報紙発行事業の広告収益が増加したため
合計	14,280,077円	

(2) 剰余金の解消計画（令和6～8年度の3か年計画）

令和6年度より解消計画に基づき取り組んでいる。令和7年度及び令和8年度も引き続き下記の取り組みを実施し、公益目的事業において赤字決算を計上することで剰余金を解消していく。

- ア 会計マネジメントの強化
公益目的事業会計の決算額は様々な要因で増減するため、四半期ごとに決算見込み額を算出し、剰余金が適切に解消される決算額となるよう、特別還元事業を適宜調整して実施していく。
- イ 会員数拡大の取り組みの強化
福利厚生サービスの利用者数を増やすことで事業の予算消化を加速させ、剰余金解消の一助とする。このため、入会キャンペーンの実施、ホームページ・SNS・生活産業広報紙「トキメキ」等での情報発信、駅構内ラックや区内事業所等でのチラシ配布、職員による区内事業所団体等への訪問勧誘活動を引き続き強化していく。
- ウ 特別還元事業の実施
特別還元事業を実施し、剰余金の解消を図っていく。またこれにより、会員満足度の向上による既存会員の退会防止と、新規会員の拡大につなげていく。
なお、事業実施に当たっては、過去に人気の高い品目や演目を取り入れ、会員ニーズや売れ行きに応じて販売額や販売数を変更して実施していく。

5 決算剰余金について

(3) 令和6年度決算における剰余金の解消状況

項目	内容	金額
福利厚生事業の収支	積極的な事業実施に努めた結果、経費が収益を上回った。	△6,996,981円
生活産業広報紙「トキメキ」発行事業の収支	広告収益が好調のため、収益が経費を上回った。	442,453 円
給付金事業会計からの振替額	給付金事業収益が経費を上回ったことに伴う法定振替額	1,160,266 円
合 計		△5,394,262円

※（参考）決算資料における剰余金の解消額

公益目的事業会計の当期一般正味財産増減額の数値が剰余金の解消額となります。

(4) 剰余金の解消予定

年度	目標決算額	剰余金解消額 (見込み)	剰余金残額
令和5年度末	—	—	14,280,077円
令和6年度末	△6,962,000円	△5,394,262円	8,885,815円
令和7年度末	△4,500,815円	△4,500,815円	4,385,000円
令和8年度末	△4,385,000円	△4,385,000円	0円

(5) 令和6年度 特別還元事業の実施状況

No.	項目	収益	費用	収益－費用	内容
1	各種ギフトカード	9,230,200円	11,259,040円	△2,028,840円	サーティワン アイスギフト券、びゅう商品券、スターバックスカード 等□
2	各種イベントチケット	4,150,900円	5,086,080円	△935,180円	キッザニア東京、アソビュー！ギフトカード□すみだ水族館 等
3	「足立の花火」有料席	0円	66,000円	△66,000円	開催中止に伴いチケット払い戻し 経費は発券手数料
4	各種スポーツチケット	240,000円	288,000円	△48,000円	大相撲九月場所
5	ディズニー・ホテル・バンケットランチプラン	945,000円	1,550,500円	△605,500円	R6.12.5（木）開催 100名参加
6	インフルエンザ予防接種費用補助	0円	1,079,000円	△1,079,000円	1回1,000円×1,079回分を補助
7	ルミネtheよしもと貸切公演	450,000円	2,250,000円	△1,800,000円	R7.3.2（日）開催 430名参加
合計		15,016,100円	21,578,620円	△6,562,520円	

(6) 令和7年度 特別還元事業予算額(令和6年度実績との比較)

※下記令和7年度の額は当初予算額であり、執行に当たっては、事業計画変更等により、人気事業の販売数を増やし、新規事業を実施する等、特別還元事業の積極的な実施に努めていく。

No.	項目	年度	収益	費用	収益－費用	内容
1	各種ギフトカード	令和6年度	9,230,200円	11,259,040円	△2,028,840円	前年度好評のコメダ珈琲店プリペイドカード等に加え、新規にKFCカード、吉野家プリカ、こども商品券等を特別価格で販売
		令和7年度	7,060,000円	8,057,000円	△997,000円	
		増減	△2,170,200円	△3,202,040円	1,031,840円	
2	各種イベントチケット	令和6年度	4,150,900円	5,086,080円	△935,180円	前年度試行実施のすみだ水族館、アビュー!ギフトカードを經常事業とし、新規にあらかわ遊園、東京豊洲万葉倶楽部チケットを特別価格で販売
		令和7年度	4,037,000円	4,731,000円	△694,000円	
		増減	△113,900円	△355,080円	241,180円	
3	「足立の花火」有料席	令和6年度	0円	66,000円	△66,000円	100席を特別価格で販売
		令和7年度	490,000円	633,000円	△143,000円	
		増減	490,000円	567,000円	△77,000円	
4	ディズニー・ホテル・バンケットランチプラン	令和6年度	945,000円	1,550,500円	△605,500円	東京ディズニーリゾート内ホテルでのランチ会で好評な事業。登場キャラクター数を拡充して実施
		令和7年度	1,008,000円	1,626,000円	△618,000円	
		増減	63,000円	75,500円	△12,500円	
5	インフルエンザ予防接種費用補助	令和6年度	0円	1,079,000円	△1,079,000円	予防接種1回につき1,000円、1会員2人分(会員又は家族)まで補助
		令和7年度	0円	1,000,000円	△1,000,000円	
		増減	0円	△79,000円	79,000円	
6	各種スポーツチケット	令和6年度	240,000円	288,000円	△48,000円	東京ドーム巨人戦、大相撲、サッカー、バスケットボール、ラグビー等プロスポーツ観戦チケットを販売
		令和7年度	2,564,000円	3,054,000円	△490,000円	
		増減	2,324,000円	2,766,000円	△442,000円	
7	ルミネtheよしもと貸切公演	令和6年度	450,000円	2,250,000円	△1,800,000円	令和7年度当初予算では予算計上していないが、人気事業であり剰余金解消のため、補正予算による実施を検討する。
		令和7年度	0円	0円	0円	
		増減	△450,000円	△2,250,000円	1,800,000円	
8	東京湾ランチクルーズ 【新規事業】	令和6年度	0円	0円	0円	ゴールデンウィーク中に東京湾クルーズ船でランチを楽しむ特別価格のプランをあっせん
		令和7年度	0円	132,000円	△132,000円	
		増減	0円	132,000円	△132,000円	
合計		令和6年度	15,016,100円	21,578,620円	△6,562,520円	
		令和7年度	15,159,000円	19,233,000円	△4,074,000円	
		増減	142,900円	△2,345,620円	2,488,520円	

6 令和6年度の主な公益目的事業等詳細内容

6 令和6年度の主な公益目的事業等詳細内容

(1) 生活安定事業

決算額（単位：円）		令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減理由(B-A)
		31,148,122	38,570,376	7,422,254
主な内容		令和5年度 実績(C)	令和6年度 実績(D)	増減理由(D-C)
ア	クオカードの販売 (R5 @4,950×仕入数1,000枚、送料1,540円) (R6 @4,950×仕入数1,500枚、送料2,310円)	1,594 枚	1,586 枚	△ 8 枚
	決算額（単位：円）	4,951,540	7,427,310	2,475,770
	【内容】 「クオカード（コンビニ等の加盟店で利用できるプリペイドカード）」を会員価格で販売。 【増減理由】 利用実績は令和5年度と同程度であった。なお、令和5年度は前年度からの繰越枚数が多く、新規購入が少なかったが、6年度は販売数に合わせて新規購入したため、決算額は増加した。 【繰越数】 5年度繰越数 6年度購入数 6年度販売数 7年度繰越数 クオカード 253枚 1,500枚 1,586枚 167枚			
イ	区内共通商品券の販売 (R5 @5,000×仕入数1,800セット) (R6 @5,000×仕入数1,600セット)	1,731 セット	1,560 セット	△ 171 セット
	決算額（単位：円）	9,000,000	8,000,000	△ 1,000,000
	【内容】 「足立区内共通商品券（足立区内の加盟店で利用できる商品券）」を会員価格で販売。 【増減理由】 利用実績は前年度より減少し、新規購入数も減らした結果、決算額は減少した。 【繰越数】 5年度繰越数 6年度購入数 6年度販売数 7年度繰越数 区内共通商品券 260セット 1,600セット 1,560セット 300セット			
ウ	コミュニティバス回数券の販売 (R5 @1,940×仕入数450冊) (R6 @1,940×仕入数100冊)	440 冊	188 冊	△ 252 冊
	決算額（単位：円）	873,000	194,000	△ 679,000
	【内容】 コミュニティバス「はるかぜ」回数券（新日本観光自動車）を会員価格で販売。 【増減理由】 バス会社の回数券の取扱いが終了したため、令和6年8月末をもって販売終了。 【繰越数】 5年度繰越数 6年度購入数 6年度販売数 7年度繰越数 コミュニティバス回数券 88冊 100冊 188冊 0冊			
エ	サーティワン アイスギフト券の販売 (R5 @475×仕入数2枚×1,000セット) (R6 @475×仕入数1,584枚)	1,218 セット	500 セット	△ 718 セット
	決算額（単位：円）	950,000	752,400	△ 197,600
	【内容】 サーティワン アイスギフト券（特定店舗で利用できるプリペイドカード）を会員価格で販売。 【増減理由】 令和5年度は2枚1セットで販売し、708セット1,416枚を繰り越した。令和6年度は1,584枚を新規購入し、合計3,000枚を6枚1セットとして500セット販売し、完売した。 【繰越数】 5年度繰越数 6年度購入数 6年度販売数 7年度繰越数 サーティワン アイスギフト券 1,416枚 1,584枚 3,000枚 0枚			
オ	選べるフルーツギフトカードの販売 (R5 @5,500×仕入数50枚、送料770円) (R6 @5,500×仕入数24枚、送料770円)	50 枚	24 枚	△ 26 枚
	決算額（単位：円）	275,770	132,770	△ 143,000
	【内容】 選べるフルーツギフトカード（WEBカタログの中からフルーツを購入できるプリペイドカード）を会員価格で販売。 【増減理由】 80枚募集したが、販売数24枚と人気が薄かった。			

6 令和6年度の主な公益目的事業等詳細内容

主な内容		令和5年度 実績(C)	令和6年度 実績(D)	増減理由(D-C)
カ	コメダ珈琲店「KOMECA（コメカ）」の販売 (R5 @2,925×仕入数600枚) (R6 @2,925×仕入数200枚)	600 枚	200 枚	△ 400 枚
	決算額（単位:円）	1,755,000	585,000	△ 1,170,000
	【内容】コメダ珈琲店 KOMECA（コメカ）（コメダ珈琲店で利用できるプリペイドカード）を会員価格で販売。 【増減理由】前年度人気があったため、令和6年度も100枚募集し、応募多数につき販売数を200枚に増やし完売した。リピーターの減少により全体の販売数は前年度比で減少した。			
キ	選べるクラフトビール5000の販売 (R5 未実施) (R6 @4,500×仕入数39枚)	未実施	39 枚	39 枚
	決算額（単位:円）	0	175,500	175,500
	【内容】選べるクラフトビールギフトカード（WEBカタログの中からクラフトビールを購入できるプリペイドカード）を会員価格で販売 【増減理由】新規販売品目として試行的に販売し、39枚を販売した。			
ク	びゅう商品券の販売 (R5 未実施) (R6 @10,000×仕入数266セット)	未実施	266 セット	266 セット
	決算額（単位:円）	0	2,660,000	2,660,000
	【内容】びゅう商品券（ルミネ北千住店等で利用できる商品券）を会員価格で販売。 【増減理由】新規販売品目として試行的に販売し、250セットを募集したところ、応募多数につき販売数を266セットに増やし完売した。			
ケ	スターバックスカードの販売 (R5 未実施) (R6 @8,000×仕入数500枚)	未実施	500 枚	500 枚
	決算額（単位:円）	0	4,000,000	4,000,000
	【内容】スターバックスカード（スターバックスで利用できるプリペイドカード）を会員価格で販売。 【増減理由】新規販売品目として試行的に販売し、200枚を募集したところ、応募多数につき販売数を500枚に増やし完売した。			
コ	PPIHグループ共通ギフトカードの販売 (R5 未実施) (R6 @10,000×仕入数228セット)	未実施	228 セット	228 セット
	決算額（単位:円）	0	2,280,000	2,280,000
	【内容】PPIHグループ共通ギフトカード（ドン・キホーテ等で利用できるギフトカード）を会員価格で販売。 【増減理由】新規販売品目として試行的に販売し、228セットを販売した。			
サ	ユニクロギフトカードの販売 (R5 @5,000×仕入数500枚) (R6 未実施)	500 枚	未実施	△ 500 枚
	決算額（単位:円）	2,500,000	0	△ 2,500,000
	【内容】ユニクロギフトカード（全国のユニクロ店舗で利用できるプリペイドカード）を会員価格で販売。 【増減理由】他のギフトカードの販売品目を増やすため、令和6年度は未実施。			
シ	クオカードP a yの販売 (R5@10,000×仕入数273コード) (R6 未実施)	273 コード	未実施	△ 273 コード
	決算額（単位:円）	2,730,000	0	△ 2,730,000
	【内容】クオカードP a y（加盟店舗で利用できる電子マネー）を会員価格で販売。 【増減理由】他のギフトカードの販売品目を増やすため、令和6年度は未実施。			

6 令和6年度の主な公益目的事業等詳細内容

主な内容		令和5年度 実績(C)	令和6年度 実績(D)	増減理由(D-C)
ス	産地直送・味の宅配便のあっせん	1,700 口	2,451 口	751 口
	決算額（単位:円）	8,091,130	12,339,857	4,248,727
	【内容】新茶、メロン、梨などの四季折々の果物などを産地から直送する。 【増減理由】さくらんぼの取り扱いを再開した。特に魚沼産コシヒカリの人气が高く、他の品目も含め全体の販売数が増加した。			
セ	生活資金融資あっせん	0 件	4 件	4 件
	決算額（単位:円）	21,682	23,539	1,857
	【内容】会員が指定金融機関で生活資金（教育・住宅資金等）として融資を受ける際の信用保証料をセンターが負担する。 （信用保証料は融資残高に応じて支払うため、令和6年度は新規融資が0件でも支出がある） 【増減理由】令和6年度の融資実績は4件であった。			
ソ	指定店	78 店	81 店	3 店
	決算額（単位:円）	0	0	0
	【内容】指定店契約を締結した事業所において、会員証提示により割引価格でサービスを利用できる。 【増減理由】新規指定3店増となった。			

(2) 健康維持増進事業

決算額（単位：円）		令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減理由(B-A)
		22,255,932	22,836,380	580,448
主な内容		令和5年度 実績(C)	令和6年度 実績(D)	増減理由(D-C)
ア	健康診断利用補助 (R5 会員@5,000×1,787人、家族@3,000×48人) (R6 会員@5,000×1,732人、家族@3,000×43人)	1,835 人	1,775 人	△ 60 人
	決算額（単位：円）	9,079,000	8,789,000	△ 290,000
	【内容】 契約病院での健康診断受診時、会員は会員価格から補助金を差し引いた料金で受診できる。契約病院には後日センターから受診実績に応じた補助金を支払う。 【増減理由】 健康診断受診希望者の減。			
イ	人間ドック利用補助 (R5 会員@5,000×28人、家族@3,000×12人) (R6 会員@5,000×38人、家族@3,000×11人)	40 人	49 人	9 人
	決算額（単位：円）	176,000	223,000	47,000
	【内容】 契約病院での人間ドック受診時、会員は会員価格から補助金を差し引いた料金で受診できる。契約病院には後日センターから受診実績に応じた補助金を支払う。 【増減理由】 人間ドック受診希望者の増。			
ウ	日曜集団健康診断 (R5 基本健診 @7,986×65人 基本健診・胃検診 @15,686×13人 基本健診・ヘブシーゲン @11,726×24人) (R6 基本健診 @8,800×45人 基本健診・胃検診 @17,600×9人 基本健診・ヘブシーゲン @11,550×17人)	102 人	71 人	△ 31 人
	決算額（単位：円）	1,004,432	750,750	△ 253,682
	【内容】 平日に健康診断を受診する機会がない会員のため集団健康診断を実施（R6.6.9（日））。会員は補助金を差し引いた価格で受診できる。 【増減理由】 受診希望者の減。			
エ	インフルエンザ予防接種費用補助 (R6 @1,000×1,079人)	未実施	1,079 人	1,079 人
	決算額（単位：円）	0	1,079,000	1,079,000
	【内容】 会員又は家族がインフルエンザ予防接種を受ける費用に1回1,000円を補助する。1会員につき会員又は家族の接種回数を合計して、2回まで申請できる。 【増減理由】 12月中旬に予算額の上限に達したため終了。1,000件を超えた日の当日消印有効で締め切ったため、補助数は1,079件となった。			
オ	健康ランド利用補助 (R5 @300×8,489枚) (R6 @300×6,804枚、@400×131枚)	8,489 枚	6,935 枚	△ 1,554 枚
	決算額（単位：円）	2,546,700	2,093,600	△ 453,100
	【内容】 契約施設利用時、会員は会員価格から補助金を差し引いた料金で利用できる。契約施設には後日センターから利用実績に応じた補助金を支払う。 【増減理由】 最も人気の施設「竜泉寺の湯」が2か月間改装休業したため全体の利用数が減少した。 なお、通常の補助額は300円であるが、年末年始に100円値上げした施設があり、会員の利用価格が上昇しないよう、その期間中のみ400円を補助した。			

6 令和6年度の主な公益目的事業等詳細内容

主な内容		令和5年度 実績(C)	令和6年度 実績(D)	増減理由(D-C)
カ	スポーツクラブ利用券の販売 (R5 6施設【新規1施設】) (R6 6施設)	1,588 枚	1,623 枚	35 枚
	決算額(単位:円)	2,046,000	2,046,000	0
	【内容】法人契約を締結したスポーツクラブで利用できる会員価格の利用券を販売。 【増減理由】コロナ5類移行後、会員の健康維持活動の増加に伴い利用が伸びたと考えられる。 なお、支出は法人会員年会費であり、販売枚数に関わらず前年度同額となる。			
キ	足立区内共通公衆浴場回数券の販売 (R5 @4,950×73冊 @5,170×1,005冊【R5.7～価格変更】) (R6 @5,170×69冊 @5,500×1,034冊【R6.7～価格変更】)	1,078 冊	1,103 冊	25 冊
	決算額(単位:円)	5,557,200	6,043,730	486,530
	【内容】「足立区内共通公衆浴場回数券(足立区内の公衆浴場で利用可)」を会員価格で販売。 【増減理由】公衆浴場の利用者数が増加したため。なお、仕入れ価格増に伴い決算額も増加した。			
ク	ゴルフ練習場プリペイドカードの販売 (R5 @5,000×仕入数157枚) (R6 @5,000×仕入数124枚)	157 枚	124 枚	△ 33 枚
	決算額(単位:円)	785,000	620,000	△ 165,000
	【内容】法人契約を締結したゴルフ場で利用できる会員価格のプリペイドカードを販売。 【増減理由】利用者数が減少したため。			
ケ	区営体育館・プール利用回数券の販売 (R5 @5,000×仕入数100セット) (R6 @5,000×仕入数100セット)	84 セット	119 セット	35 セット
	決算額(単位:円)	500,000	500,000	0
	【内容】足立区営体育館・プール等で利用できる回数券を会員価格で販売。 【増減理由】身近な健康維持活動の場として、区営体育館・プール等の利用が伸びていることが要因と考えられる。なお前年度の繰越しにより、新規購入数は前年度と同程度で充足できたため経費の増はない。 【繰越数】 5年度繰越数 6年度購入数 6年度販売数 7年度繰越数 区営体育館・プール利用回数券 65セット 100セット 119セット 46セット			
コ	スキー場リフト券の販売	135 枚	145 枚	10 枚
	決算額(単位:円)	561,600	691,300	129,700
	【内容】法人契約を締結した6カ所のスキー場で利用できるリフト券を会員価格で販売。 【増減理由】前年度から若干販売数が増加した。			

(3) 老後生活安定事業

決算額（単位：円）		令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減理由 (B-A)
		13,000	881,447	868,447
主な内容		令和5年度 実績 (C)	令和6年度 実績 (D)	増減理由 (D-C)
ア	ライフプランセミナーの実施 (R5 職員研修費13,000円) (R6 講演料880,000円＋講師用水等1,447円)	未実施	102 人	102 人
	決算額（単位：円）	13,000	881,447	868,447
	【内容】 中高年層向けのキャリアデザインを支援するライフプランセミナーの実施。 【増減理由】 令和6年度は、著名人による講演会「やりたいことを見つければ、人生は楽しくなる」を実施した（R6.11.15（金））。			

6 令和6年度の主な公益目的事業等詳細内容

(4) 自己啓発事業

決算額（単位：円）		令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減理由(B-A)
		9,563,440	8,284,435	△ 1,279,005
主な内容		令和5年度 実績(C)	令和6年度 実績(D)	増減理由(D-C)
ア	文化教養講座、資格取得等利用補助 (R5文化教養@3,000×23人、資格試験@3,000円×63人、 放送大学@18,000×2人、@6,750×1人) (R6文化教養@3,000×17人、資格試験@3,000円×56人、 放送大学@18,000×1人、12,000×1人、9,000×2人)	89 人	77 人	△ 12 人
	決算額（単位：円）	300,750	267,000	△ 33,750
	【内容】文化教養講座、資格取得、放送大学、NHK学園生涯学習通信講座等の受講料・利用料に補助金を支払う。 【増減理由】文化教養講座等の利用数が減少したため。			
イ	美術展・展覧会チケットの販売	1,757 枚	2,023 枚	266 枚
	決算額（単位：円）	3,042,090	3,291,735	249,645
	【内容】都内美術館等で利用できる「ぐるっとパス」及び各種展覧会チケットを会員価格で販売。 【増減理由】魅力のある美術展・展覧会の開催数が増加し、チケット販売数が増加したことによるものと考えられる。			
ウ	歌舞伎等鑑賞教室 (R5 歌舞伎@3,800×27枚、能楽@3,000×4枚、 文楽@3,800×26枚) (R6 歌舞伎@3,800×24枚、能楽@3,200×10枚、 文楽@3,800×16枚)	57 枚	50 枚	△ 7 枚
	決算額（単位：円）	213,400	184,000	△ 29,400
	【内容】歌舞伎・文楽・能楽鑑賞教室チケットを会員価格で販売。 【増減理由】前年度より若干販売数が減少した。			
エ	図書カードの販売 (R5 @2,931×仕入数2,000枚) (R6 @2,931×仕入数1,500枚)	1,812 枚	1,735 枚	△ 77 枚
	決算額（単位：円）	5,862,000	4,396,500	△ 1,465,500
	【内容】「図書カードNEXT（取扱書籍販売店で利用できるプリペイドカード）」を会員価格で販売。 【増減理由】前年度より若干販売数が減少した。 【繰越数】 5年度繰越数 6年度購入数 6年度販売数 7年度繰越数 図書カード 828枚 1,500枚 1,735枚 593枚			
オ	新入・若手社員研修の実施 (R5 研修実施費用 115,500円、テキスト代 29,700円) (R6 研修実施費用 115,500円、テキスト代 29,700円)	12 人	10 人	△ 2 人
	決算額（単位：円）	145,200	145,200	0
	【内容】新入・若手社員向け研修会の実施（R6.5.21（火）実施）。 【増減理由】人手不足等中小企業を取り巻く状況が厳しい中、新入・若手社員数が減少していることが要因と考えられる。			

(5) 余暇活動事業

決算額（単位：円）		令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減理由(B-A)
		65,085,690	69,552,933	4,467,243
主な内容		令和5年度 実績(C)	令和6年度 実績(D)	増減理由(D-C)
ア	東京ドームシティ「得10チケット」の販売 (R5 年会費 264,000円、チケット@2,900×仕入数762冊) (R6 年会費 264,000円、チケット@2,900×仕入数831冊)	762 冊	831 冊	69 冊
	決算額（単位：円）	2,473,800	2,673,900	200,100
	【内容】東京ドームシティ各施設で利用できるチケットを会員価格で販売。 【増減理由】余暇活動が増加したことにより、利用が増加したものと推察する。			
イ	東武動物公園入園券の販売 (R5 @2,100×仕入数4,000枚、送料1,040円) (R6 @3,300×仕入数2,000枚、送料0円)	3,402 枚	2,000 枚	△ 1,402 枚
	決算額（単位：円）	8,401,040	6,600,000	△ 1,801,040
	【内容】東武動物公園入園チケットを会員価格で販売。 【増減理由】チケット販売額の値上げとリピーターの減少により、利用が減少したものと推察する。			
ウ	西武園ゆうえんちチケットの販売 (R5 1口@440,000×4口) (R6 1口@440,000×2口+@220,000×1口)	400 枚	250 枚	△ 150 枚
	決算額（単位：円）	1,760,000	1,100,000	△ 660,000
	【内容】西武園ゆうえんち「一日レジャー切符」を会員価格で販売。 【増減理由】販売開始後3年目を迎え、リピーターの減少により売れ行きが落ちてきたため250枚で販売終了。			
エ	スパリゾートハワイアンズ入場券の販売 (R5 1口@825,000×2口（入場券2,920枚）) (R6 1口@825,000×2口（入場券2,920枚）)	1,998 枚	1,915 枚	△ 83 枚
	決算額（単位：円）	1,650,000	1,650,000	0
	【内容】スパリゾートハワイアンズ入場券を会員価格で販売。 【増減理由】他リゾート施設より販売価格が安価（900円）のため人気が高く、販売数は概ね横這いである。 なお、販売枚数は法人契約の範囲内のため、決算額は増加していない。			
オ	指定レジャー施設利用補助	2,417 枚	1,812 枚	△ 605 枚
	決算額（単位：円）	730,500	543,600	△ 186,900
	【内容】17カ所の契約レジャー施設利用時、会員は会員価格から補助金を差し引いた料金で利用できる。契約 レジャー施設には後日センターから利用実績に応じた補助金を支払う。 【増減理由】余暇活動が多様化したことにより利用が減少したものと推察する。			
カ	東京ディズニーリゾートコーポレートプログラム利用券 (R5 @1,000×2,892枚) (R6 @1,000×3,142枚)	2,892 枚	3,142 枚	250 枚
	決算額（単位：円）	2,892,000	3,142,000	250,000
	【内容】東京ディズニーリゾートのチケット購入時に補助金を差し引いた価格でチケットを購入できる利用券 を会員に交付。後日、利用者分の補助金を東京ディズニーリゾートに支払う。 【増減理由】東京ディズニーリゾートの人気の高まりにより、利用者が増加したものと推察する。			

6 令和6年度の主な公益目的事業等詳細内容

主な内容		令和5年度 実績(C)	令和6年度 実績(D)	増減理由(D-C)
キ	食事チケット	842 枚	1,029 枚	187 枚
	決算額(単位:円)	580,900	673,700	92,800
	【内容】契約したホテル等レストランにおいて、食事チケットを提示し補助金を差し引いた価格で食事を楽しむ。契約レストランには後日センターから利用実績に応じた補助金を支払う。 【増減理由】余暇活動の多様化により、利用が伸びたものと推察する。			
ク	日本料理店加賀屋 銀座店 食事券 (R6 @8,300×70人)	未実施	70 人	70 人
	決算額(単位:円)	0	581,000	581,000
	【内容】地震により被災した石川県の応援企画として、「日本料理店加賀屋 銀座店」において、特別価格で食事を楽しめる食事券を販売。 【増減理由】被災地を応援する意味もあり、利用者が多かった。			
ケ	宿泊施設利用補助 (R5 @2,000×2,655泊) (R6 @2,000×2,593泊)	2,655 泊	2,593 泊	△ 62 泊
	決算額(単位:円)	5,310,000	5,186,000	△ 124,000
	【内容】国内外での宿泊費(1泊2,000円以上)を対象に、1泊2,000円(年間2泊まで)の補助金を支給する。 【増減理由】前年度と同程度だが若干利用が減少した。			
コ	会員制リゾート施設利用 (施設管理委託料 両年度とも 316,800円)	93 件	86 件	△ 7 件
	決算額(単位:円)	316,800	0	△ 316,800
	【内容】会員制リゾート施設「ザ グラン リゾート」(国内19施設)を会員価格で利用できる。 【増減理由】余暇活動の多様化により利用が減少したものと推察する。 なお、施設管理委託料の支払いを1月払いから4月払いに変更したことにより、令和6年度は支出がなかった。			
サ	あっせん日帰りバスツアー (R5 2回実施 会員@2,000×22人、家族@1,000×8人 会員@3,000×43人、家族@2,000×32人) (R6 3回実施 会員@2,000×109人、家族@1,000×74人)	129 人	210 人	81 人
	決算額(単位:円)	245,000	292,000	47,000
	【内容】あっせん日帰りバスツアーを募集し、参加会員は補助金を差し引いた価格で参加できる。後日、契約会社の請求に基づき、割引価格分の補助金を契約施設に支払う。 【増減理由】令和6年度は3回(6/16、7/6、12/15)実施し、参加者数・経費とも増加した。			
シ	温泉&食事チケットの販売 (R5 @3,800×仕入数358枚) (R6 @3,900×仕入数350枚)	358 枚	350 枚	△ 8 枚
	決算額(単位:円)	1,360,400	1,365,000	4,600
	【内容】選べる宿泊施設で日帰り入浴と食事が楽しめるチケットの販売。 【増減理由】前年度と同程度を販売した。			

6 令和6年度の主な公益目的事業等詳細内容

主な内容		令和5年度 実績(C)	令和6年度 実績(D)	増減理由(D-C)
ス	プロ野球チケットの販売 (R5@6,300×仕入数10枚、@5,800×仕入数80枚) (R6@5,800×仕入数71枚、@5,900×仕入数40枚)	90 枚	111 枚	21 枚
	決算額(単位:円)	527,000	647,800	120,800
	【内容】東京ドームでのプロ野球「読売ジャイアンツ」観戦チケットの販売。 【増減理由】令和5年度はWBC優勝もあり人気が高かったため、令和6年度は販売数を増やして実施し、販売数・決算額ともに増加した。			
セ	各種スポーツ観戦チケットの販売	183 枚	224 枚	41 枚
	決算額(単位:円)	1,061,390	1,386,275	324,885
	【内容】大相撲、サッカーJリーグ等の各種スポーツ観戦チケットの販売。 【増減理由】新規にバスケットやラグビーのプロリーグチケット等を取り扱い、販売数・決算額ともに増加した。			
ソ	国立演芸場入場券の販売 (R5 @1,760×販売実績数21枚) (R6 @1,760×販売実績数11枚)	21 枚	11 枚	△ 10 枚
	決算額(単位:円)	36,960	19,360	△ 17,600
	【内容】国立演芸場入場券の販売。 【増減理由】国立演芸場の改修中のため他会場で実施しており、販売枚数が減少した。			
タ	潮干狩り券の販売 (R5 大人@1,800×販売実績数425枚、小人@900×販売実績数137枚) (R6 大人@1,800×販売実績数345枚、小人@900×販売実績数108枚)	562 枚	453 枚	△ 109 枚
	決算額(単位:円)	888,300	718,200	△ 170,100
	【内容】千葉県木更津市の海岸で潮干狩りを楽しめる入場券の販売。 【増減理由】家族で気軽に楽しめるレジャーとして人気が高かったが、コロナ5類移行後家族で参加できるレジャー活動が多様化したため、利用が減少したものと考えられる。			
チ	ジェフグルメカードの販売 (R5@2,928×仕入数3,000セット) (R6@2,928×仕入数4,000セット)	3,543 セット	3,694 セット	151 セット
	決算額(単位:円)	8,784,000	11,712,000	2,928,000
	【内容】全国の飲食店で利用できる食事券の販売。 【増減理由】会員の余暇活動が活発化し、近隣の飲食店でも利用できる当カードの人気が高まったものと考えられる。 【繰越数】 5年度繰越数 6年度購入数 6年度販売数 7年度繰越数 ジェフグルメカード 170セット 4,000セット 3,694セット 476セット			
ツ	映画鑑賞パスポート券 (R5 TOHO @1,500×仕入数4,300枚 SMT @1,400×仕入数 340枚) (R6 TOHO @1,500×仕入数3,900枚 SMT @1,400×仕入数 235枚)	4,640 枚	4,135 枚	△ 505 枚
	決算額(単位:円)	6,926,000	6,179,000	△ 747,000
	【内容】一般販売価格よりも低廉な映画鑑賞パスポート券の販売。 【増減理由】令和5年度と比較して人気の高い映画作品が減少し、販売数が減少したものと推察される。			

6 令和6年度の主な公益目的事業等詳細内容

主な内容		令和5年度 実績(C)	令和6年度 実績(D)	増減理由(D-C)
テ	足立の花火有料席 (R5 @3,500×仕入数80枚、チケット発行手数料 28,160円) (R6 チケット発行手数料 66,000円)	80 枚	開催中止	△ 80 枚
	決算額(単位:円)	308,160	66,000	△ 242,160
	【内容】「足立の花火」有料席の販売。 【増減理由】令和6年度は200枚を販売し完売したが、荒天のため開催中止。チケット発行手数料は払い戻しがないため経費となった。			
ト	各種イベントチケットの販売	931 枚	1,203 枚	272 枚
	決算額(単位:円)	2,508,950	5,086,080	2,577,130
	【内容】水族館、夏休み子ども向けイベント等のチケットの販売。 【増減理由】スパ ラクーア等人気のチケットに加え、すみだ水族館、アンパンマンこどもミュージアム、アソビユー!ギフトカード、キッザニア東京等のチケット品目を増やし、利用が増加した。			
ナ	観劇・コンサートチケットの販売	1,793 枚	1,680 枚	△ 113 枚
	決算額(単位:円)	16,371,252	15,078,118	△ 1,293,134
	【内容】観劇・コンサートチケットの販売。 【増減理由】前年度と同定の規模でチケットを販売したが、販売数は微減となった。			
ニ	「ルミネtheよしもと」鑑賞券の販売 (R5 「ト 各種イベントチケット」事業内で実施) (R6 チケット仕入1,052,400円 貸切公演料 2,250,000円)	「(ト)各種イベント チケット」事業内で 実施/60枚販売	778 枚	718 枚
	決算額(単位:円)	0	3,302,400	3,302,400
	【内容】「ルミネtheよしもと」を鑑賞できる平日券及び土日祝日券を販売。また、特別事業として貸切公演を実施。 【増減理由】令和5年度は「(ト)各種イベントチケット」事業内で実施したため、本項では予算額は表示していない。 令和6年度は、平日券に加え土日祝日券を販売し販売数が増加。(60枚→348枚) 貸切公演は特別事業として実施(R7.3.2(日))し、430人が参加した。			
ヌ	東京ディズニーシー ホテルミラコスタ ディズニーバンケットランチプラン	90 人	100 人	10 人
	決算額(単位:円)	1,390,588	1,550,500	159,912
	【内容】東京ディズニーリゾート内ホテルで、キャラクターとのグリーティングと食事を楽しむイベントを実施。 【増減理由】参加人数は前年度比10人増の100人が参加して実施(R6.12.5(木))し、決算額も増加した。			
ネ	ローチケbiz+サービスの提供 (R5 年会費 220,000円)	119 件	未実施	△ 119 件
	決算額(単位:円)	220,000	0	△ 220,000
	【内容】「ローチケbiz+」法人契約を締結。会員は、同ホームページでの各種チケットの購入時に、発行手数料を無料で利用できる。 【増減理由】利用実績が伸びなかったため、令和5年度末で事業終了。			
ノ	夏休み親子ものづくり体験 (R5 開催費一式 342,650円)	45 人	未実施	△ 45 人
	決算額(単位:円)	342,650	0	△ 342,650
	【内容】夏休みに親子でものづくり体験ができる製作キットの販売及び製作方法説明動画の提供。 【増減理由】足立区施策の夏休み子どもものづくり体験の実施に伴い利用が減少したため、令和6年度は「(ト)各種イベントチケット」事業内で「キッザニア東京」チケットを取り扱うことで事業を組み換えた。			

(6) 財産形成支援事業

決算額（単位：円）		令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減理由(B-A)
		0	0	0
主な内容		令和5年度 実績(C)	令和6年度 実績(D)	増減理由(D-C)
ア	財形貯蓄（一般・住宅・年金）	42 人	36 人	△ 6 人
	決算額（単位：円）	0	0	0
	【内容】財形貯蓄のための代行事務（事業所からの集金及び金融機関への送金）。 【増減理由】平成29年度より新規募集は停止。積立期間満了に伴い利用者数は減少している。			

(7) 生活産業広報紙発行事業

決算額（単位：円）		令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減理由(B-A)
		86,838,074	90,244,737	3,406,663
主な内容		令和5年度 実績(C)	令和6年度 実績(D)	増減理由(D-C)
ア	生活産業広報紙「トキメキ」の発行 (R5 編集委託費 20,829,600円 印刷製本費 23,697,672円 配布委託費 42,310,802円) (R6 編集委託費 20,829,600円 印刷製本費 25,301,377円 配布委託費 44,018,060円 事業者選定経費 95,700円)	4,237,200 部	4,299,300 部	62,100 部
	決算額（単位：円）	86,838,074	90,244,737	3,406,663
	【内容】生活産業広報紙「トキメキ」の発行（編集・広告営業、印刷、配布委託料の支出）。 【増減理由】区内人口増加に伴う配布数の増加により、発行部数が増加した。また物価高騰により印刷単価及び配布単価も増加したため、経費は増加した。また、令和7年度企画・編集業務受託者選定のためプロポーザルを実施し、経費を支出した。			

6 令和6年度の主な公益目的事業等詳細内容

(8) 加入促進事業

決算額（単位：円）		令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減理由(B-A)
		307,360	2,041,960	1,734,600
主な内容		令和5年度 実績(C)	令和6年度 実績(D)	増減理由(D-C)
ア	生活産業広報紙「トキメキ」での募集記事掲載	12 回	12 回	0 回
	決算額（単位：円）	0	0	0
	【内容】生活産業広報紙「トキメキ」に募集記事を掲載。「足立の花火」パンフレットに広告を掲載。入会キャンペーンチラシ・入会案内の作成等。 【増減理由】「トキメキ」には前年度と同様、毎月会員募集記事を掲載した。このほか、ホームページ、SNS等でも、定期的にお得情報や入会メリットの情報発信に努めた。 また、入会キャンペーンチラシ及び入会案内を手にとってもらいやすいよう、マンガ形式にリニューアルした。合わせてホームページに入会勧奨用の紹介動画を制作し掲載したため、決算額が増加した。			

(9) その他の事業

決算額（単位：円）		令和5年度 (A)	令和6年度 (B)	増減理由(B-A)
		14,398,112	14,863,256	465,144
主な内容		令和5年度 実績(C)	令和6年度 実績(D)	増減理由(D-C)
ア	給付事業	1,351 件	1,379 件	28 件
	決算額（単位：円）	14,398,112	14,863,256	465,144
	【内容】祝金（結婚等、出産、入学、還暦等）、弔慰金等の給付。 【増減理由】死亡弔慰金（+35件）、結婚等祝金（+12件）、各種見舞金（+12件）、二十歳祝金（+1件）、長寿記念品（+17件）の増加の一方で、還暦（△6件）、出産（△8件）、小・中学校入学祝金（△35件）の給付実績が減少したため、全体として給付実績が増加した。 （参考）給付額 出産祝金 20,000円 死亡弔慰金 会員50,000円、配偶者等20,000円、親・子10,000円 小・中学校入学祝金 各10,000円			

7 収支決算(正味財産増減計算ベース)

I 一般正味財産増減の部

1. 経常増減の部

(1) 経常収益

公益目的事業会計・収益事業等会計・法人会計

単位：円

科 目	令和5年度 決算額(A)	令和6年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
基本財産運用益				基本財産の運用益
基本財産受取利息 <1>	1,774,015	2,961,392	1,187,377	利息収入 2,961,392円 [地方債運用収入増 1,187,377円]
基本財産運用益計 <2>	1,774,015	2,961,392	1,187,377	
特定資産運用益				特定資産の運用益
特定資産運用益 <3>	151,220	151,329	109	利息収入 151,329円 [定期利息増 109円]
特定資産運用益計 <4>	151,220	151,329	109	
受取入会金会費				会員の入会金及び会費収入
受取入会金会費 <5>	62,151,100	62,576,150	425,050	
受取入会金 <6>	98,600	117,200	18,600	入会金収入 117,200円 (@200円×586人分) [入会金無料・会費無料キャンペーン 実施に伴う増 18,600円]
受取会費 <7>	62,052,500	62,458,950	406,450	会費収入 62,458,950円 (年間6,000円×約10,410人分) [入会金無料・会費無料キャンペーン 実施に伴う増 406,450円]
受取入会金会費計 <8>	62,151,100	62,576,150	425,050	
事業収益				
生活安定事業収益 <9>	30,878,038	35,007,447	4,129,409	カード・産地直送品等販売収益 区内商品券等販売収入 24,355,920円 [売上数の増 587,900円] 産地直送販売収入 10,651,527円 [売上数の増 3,541,509円]
健康維持増進事業収益 <10>	8,160,000	8,567,990	407,990	健康診断受診料、回数券等販売代金の収益 日曜健康診断受診料 510,290円 [申込者数の減 △171,410円] 公衆浴場回数券等販売収入 8,057,700円 [売上数の増 579,400円]
老後生活安定事業収益 <11>	0	25,300	25,300	セミナー参加費の収益 ライブセミナー参加費 25,300円 [事業再開による増 25,300円]

7 収支決算

単位：円

科 目	令和5年度 決算額(A)	令和6年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
自己啓発事業収益 <12>	7,495,800	7,430,100	△ 65,700	チケット販売代金、研修参加費の収益 図書カード・美術展等チケット等の 販売収入 7,403,700円 [売上数の減 △64,100円] 若手社員研修参加費 26,400円 [参加者数の減 △1,600円]
余暇活動事業収益 <13>	48,574,300	49,065,900	491,600	チケット販売代金、参加費の収益 東武動物公園等レジャー施設チケット 販売収入 10,792,200円 [売上数の減 △1,867,800円] プロ野球チケット販売収入 555,000円 [販売数の増 105,000円] 各種スポーツ観戦チケット販売収入 1,150,200円 [販売数の増 197,800円] 国立演芸場入場券販売収入 15,400円 [販売数の減 △21,000円] 潮干狩り券販売収入 478,800円 [売上数の減 △113,400円] ジェフグルメカード販売収入 9,973,800円 [売上数の増 407,700円] 映画鑑賞券スポーツ券販売収入 5,352,000円 [売上数の減 △646,000円] 「足立の花火」有料席販売収入 0円 [大会中止による減 △240,000円] 温泉&食事チケット販売収入 1,540,000円 [売上数の増 466,000円] 各種イベントチケット販売収入 4,150,900円 [売上数の増 1,940,200円] 観劇コンサートチケット販売収入 12,795,600円 [売上数の減 △1,181,900円] 親子ものづくり体験参加費 0円 [事業組み替えによる減 △67,500円] ディズニーホテル パンケットランチ プラン参加費 945,000円 [参加者数の増 195,500円] ルミネtheよしもと 1,317,000円 [R6年単独事業化による増 1,317,000円]

7 収支決算

単位：円

科 目	令和5年度 決算額(A)	令和6年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
生活産業広報紙発行 事業収益 <14>	92,796,968	90,687,190	△ 2,109,778	生活産業広報紙発行収益 トキメキ記事掲載料 51,428,520円 [記事掲載料単価減 △1,502,820円] トキメキ広告料 39,258,670円 [広告掲載数の減 △606,958円]
事業収益計 <15>	187,905,106	190,783,927	2,878,821	
受取補助金 受取区補助金 <16>	37,117,366	38,273,290	1,155,924	人件費、管理運営費に対する区補助金 人件費(職員13人)補助金 9,258,485円 [福利厚生費の増 405,742円] 管理費補助金 14,215,686円 [通信運搬費等の増 1,238,759円] 事業費補助金 14,799,119円 [消費税額の減 △488,577円]
受取補助金計 <17>	37,117,366	38,273,290	1,155,924	
雑収益 雑収益 <18>	23,682	29,386	5,704	雑収益 流動資産利息収入等 29,386円 [雑収益の増 5,704円]
広告・手数料収益 <19>	1,761,098	1,557,136	△ 203,962	会報誌Fromゆう・利用ガイド 広告料等 1,557,136円 [広告手数料収入の減 △203,962円]
雑収益計 <20>	1,784,780	1,586,522	△ 198,258	
経常収益計 <21>	290,883,587	296,332,610	5,449,023	

7 収支決算

(2) 経常費用

公益目的事業会計

単位：円

科 目		令和5年度 決算額(A)	令和6年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
棚卸資産	<22>	3,732,102	953,777	△ 2,778,325	
期首棚卸資産	<23>	10,374,340	6,642,238	△ 3,732,102	
期末棚卸資産	<24>	△ 6,642,238	△ 5,688,461	953,777	
事業費	<25>	247,843,712	262,813,976	14,970,264	
事業人件費	<26>	3,706,017	3,980,745	274,728	事業課職員(8人)の人件費
福利厚生費	<27>	3,706,017	3,980,745	274,728	共済組合負担金等 3,980,745円 [給与支給総額の増 247,728円]
事業運営費	<28>	28,137,715	25,627,801	△ 2,509,914	事業にかかる管理運営費
旅費交通費	<29>	23,374	22,494	△ 880	近接地外出出張旅費 22,494円 [旅行経費の減 △880円]
通信運搬費	<30>	9,430	9,557	127	携帯電話使用料 9,557円 [通話料の増 127円]
消耗品費	<31>	577,759	470,631	△ 107,128	事業用消耗品 470,631円 [コピー等消耗品の減 107,128円]
印刷製本費	<32>	8,429,858	6,450,691	△ 1,979,167	利用ガイド・入会案内・ 会報誌印刷等 6,450,691円 [利用ガイド印刷費の減 1,979,167円]
賃借料	<33>	2,277,564	2,277,564	0	パソコン・福祉共済システム 機器のリース料 2,277,564円 [増減なし]
支払手数料	<34>	864,853	1,062,302	197,449	会費振替振込手数料等 1,062,302円 [振替振込件数の増 197,449円]
委託費	<35>	14,239,993	14,021,854	△ 218,139	会報誌配送委託、窓口業務 委託費等 14,021,854円 [会報誌配送等委託費等の減 △218,139円]
租税公課	<36>	1,714,884	1,312,708	△ 402,176	消費税・地方消費税 1,312,708円 [課税額の減 △402,176円]
生活安定事業費	<37>	31,148,122	38,570,376	7,422,254	生活安定事業にかかる経費
主催事業費	<38>	31,126,440	38,546,837	7,420,397	区内商品券等仕入経費 26,206,980円 [売上数の増 3,171,670円] 産地直送仕入経費 12,339,857円 [売上数の増 4,248,727円]
信用保証料	<39>	21,682	23,539	1,857	生活資金融資あっせん信用保証料 23,539円 [融資金額の増 1,857円]
健康維持増進事業費	<40>	22,255,932	22,836,380	580,448	健康維持増進事業にかかる経費
印刷製本費	<41>	0	0	0	健診利用承認書の印刷経費 0円

7 収支決算

単位：円

科 目	令和5年度 決算額(A)	令和6年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
負担金 <42>	2,046,000	2,046,000	0	スポーツクラブ 法人会員年会費 2,046,000円 [増減なし]
利用補助費 <43>	11,801,700	12,184,600	382,900	健康診断、人間ドックの利用補助 9,012,000円 [利用実績の減 △243,000円] 健康ランドの利用補助 2,093,600円 [利用実績の減 △453,100円] インフルエンザ [※] 予防接種費用補助 1,079,000円 [令和6年度新規実施 1,079,000円]
主催事業費 <44>	8,408,232	8,605,780	197,548	日曜健康診断経費 750,750円 [利用実績の減 △253,682円] 公衆浴場回数券等仕入経費 7,855,030円 [販売数の増 451,230円]
老後生活安定事業費 <45>	13,000	881,447	868,447	老後生活安定事業にかかる経費
主催事業費 <46>	13,000	881,447	868,447	ライフ [※] ランチセミナー実施経費 881,447円 [事業再開による増 868,447円]
自己啓発事業費 <47>	9,563,440	8,284,435	△ 1,279,005	自己啓発事業にかかる経費
利用補助費 <48>	300,750	267,000	△ 33,750	文化教養講座、資格取得等補助 267,000円 [利用実績の減 △33,750円]
主催事業費 <49>	9,262,690	8,017,435	△ 1,245,255	鑑賞教室・美術展等仕入経費 3,475,735円 [販売数の増 220,245円] 図書カード仕入経費 4,396,500円 [販売数の減 △1,465,500円] 若手社員研修経費 145,200円 [増減なし]
余暇活動事業費 <50>	65,865,852	70,333,095	4,467,243	余暇活動事業にかかる経費
負担金 <51>	6,103,800	5,423,900	△ 679,900	法人会員年会費 5,423,900円 [販売数の減 △679,900円]
委託費 <52>	316,800	0	△ 316,800	グランリゾート施設管理委託費 0円 [支払時期変更に伴う減 △316,800円]
利用補助費 <53>	9,758,400	9,837,300	78,900	指定レジャー施設利用補助 543,600円 [利用数の減 △186,900円] 東京デイズ [※] ニーリゾート利用補助 3,142,000円 [利用数の増 250,000円] 食事チケット 673,700円 [利用数の増 92,800円] 宿泊施設利用補助 5,186,000円 [利用数の減 △124,000円]

7 収支決算

単位：円

科 目	令和5年度 決算額(A)	令和6年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
主催事業費 <54>	48,906,690	54,291,733	5,385,043	あっせん日帰りバスツアー補助 292,000円 [利用数の増 47,000円] 東武動物公園チケット仕入経費 6,600,000円 [販売数の減 △1,801,040円] プロ野球チケット仕入経費 647,800円 [販売数の増 120,800円] 各種スポーツ観戦チケット仕入経費 1,386,275円 [販売数の増 324,885円] 国立演芸場入場券仕入経費 19,360円 [販売数の減 △17,600円] 潮干狩り券仕入経費 718,200円 [売上数の減 △170,100円] ジェフグルメカード仕入経費 11,712,000円 [売上数の増 2,928,000円] 映画鑑賞券仕入経費 6,179,000円 [販売数の減 △747,000円] 「足立の花火」有料席仕入経費 66,000円 [大会中止による減 △242,160円] 温泉&食事チケット仕入経費 1,946,000円 [売上数の増 585,600円] 各種イベントチケット仕入経費 5,086,080円 [販売数の増 2,577,130円] 観劇コンサートチケット仕入経費 15,078,118円 [販売数の減 △1,293,134円] 親子ものづくり体験実施経費 0円 [事業組み換えによる減 △342,650円] ルミネtheよしもと 3,302,400円 [R5「各種イベント」事業から、R6単独 事業化による増 3,302,400円] ディズニーホテル バンケットランチ プラン経費 1,550,500円 [実施経費の増 159,912円]
減価償却費 <55>	780,162	780,162	0	ザ グランリゾート エレガンテ 伊豆・建物共有持分の減価償却
財産形成事業費 <56>	0	0	0	
印刷製本費 <57>	0	0	0	

7 収支決算

単位：円

科 目	令和5年度 決算額(A)	令和6年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
生活産業広報紙発行 事業費 <58>	86,838,074	90,244,737	3,406,663	公社ニュース「トキメキ」発行経費
委託費 <59>	86,838,074	90,244,737	3,406,663	編集・広告営業委託費 20,829,600円 [増減なし] 印刷委託費 25,301,377円 [印刷単価・部数の増 1,603,705円] 配布委託費 44,018,060円 [配布単価・世帯数増 1,707,258円] 事業者選定経費 95,700円 [選定委員会開催による増 95,700円]
加入促進事業費 <60>	307,360	2,041,960	1,734,600	加入促進に係る事業費
加入促進事業費 <61>	307,360	2,041,960	1,734,600	入会キャンペーン用チラシ・紹介 動画等制作経費 1,363,450円 [紙面リニューアルに伴う増 1,342,770円] 入会案内制作経費 466,510円 [紙面リニューアルに伴う増 404,910円] 「足立の花火」広告掲載料 110,000円 [掲載料の増 10,000円] 加入促進特別企画経費 102,000円 [経費の減 △23,080円]
雑費 <62>	8,200	13,000	4,800	雑費
雑費 <63>	8,200	13,000	4,800	チケット未収金損失処理等
公益・事業費計 <64>	251,575,814	263,767,753	12,191,939	

7 収支決算

(2) 経常費用

収益事業等会計

単位：円

科 目	令和5年度 決算額(A)	令和6年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
事業費				
事業人件費 <65>	195,054	209,513	14,459	事業課職員(8人)の人件費(※)
福利厚生費 <66>	195,054	209,513	14,459	給付事業に係る職員の共済組合 事業主負担金配賦分(※)
事業運営費 <67>	1,381,073	1,258,583	△ 122,490	事業に係る管理運営費(※)
通信運搬費 <68>	496	503	7	給付事業に係る携帯電話利用料配賦分(※)
消耗品費 <69>	30,408	24,770	△ 5,638	給付事業に係る事業用消耗品配賦分(※)
印刷製本費 <70>	443,677	339,510	△ 104,167	給付事業に係る印刷経費配賦分(※)
賃借料 <71>	119,872	119,872	0	給付事業に係るパソコン等賃借料配賦分(※)
支払手数料 <72>	37,147	35,935	△ 1,212	給付事業に係る会費振替振込手数料配賦分(※)
委託費 <73>	749,473	737,993	△ 11,480	給付事業に係る窓口業務委託費等配賦分(※)
生活安定事業費 <74>	14,398,112	14,863,256	465,144	
給付金 <75>	14,398,112	14,863,256	465,144	会員等への給付金 14,863,256円 給付実績の増 465,144円
				(※)「収益事業等会計」における 「事業人件費」及び「事業運営 費」の金額は、「事業人件費」及 び「事業運営費」経費全体の5% を按分して計上しているものであ り、「主な増減理由」は公益目的 事業会計のそれと同一であるた め記載を省略した。
収益・事業費計 <76>	15,974,239	16,331,352	357,113	

(2) 経常費用

法人会計

単位：円

科 目	令和5年度 決算額(A)	令和6年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
管理費				
人件費 <77>	4,951,672	5,068,227	116,555	総務課職員(5人)の人件費
福利厚生費 <78>	4,951,672	5,068,227	116,555	総務課職員の共済組合負担金等 5,068,227円 [給与支給総額の増 116,555円]
管理運営費 <79>	12,976,927	14,215,686	1,238,759	組織運営に係る管理運営費
会議費 <80>	7,296	0	△ 7,296	理事会・評議員会等茶代 0円 [茶提供廃止による減 △7,296円]
会議交通費 <81>	237,000	213,000	△ 24,000	役員・評議員の費用弁償 213,000円 [理事会等開催回数減 △24,000円]
旅費交通費 <82>	136,922	166,564	29,642	職員出張旅費 166,564円 [出張回数の増 29,642円]
通信運搬費 <83>	2,444,170	3,277,872	833,702	電話料金、郵送費等 3,277,872円 [郵送費の増 833,702円]
消耗品費 <84>	779,431	1,033,065	253,634	コピー機・FAX・事務用消耗品 1,033,065円 [コピー等消耗品の増 253,634円]
賃借料 <85>	3,001,772	3,028,820	27,048	オフィス家具・事務機器等賃借料 3,028,820円 [勤怠管理システム賃借料の増 27,048円]
保険料 <86>	218,846	217,266	△ 1,580	動産総合保険、労災保険等 217,266円 [保険料の減 △1,580円]
租税公課 <87>	180,200	158,550	△ 21,650	収入印紙経費 158,550円 [契約用収入印紙の減 △21,650円]
負担金 <88>	242,000	242,000	0	全福センター年会費等 242,000円 [増減なし]
委託費 <89>	3,192,842	3,002,976	△ 189,866	財務会計事務、清掃委託等 3,002,976円 [パソコン対応改修終了による減 △189,866円]
支払手数料 <90>	1,524,958	1,815,101	290,143	法務登記・口座振替手数料等 1,815,101円 [EBK振込手数料等の増 290,143円]
交際費 <91>	17,480	0	△ 17,480	弔慰金等 0円 [交際費実績なし △17,480円]
研修費 <92>	23,500	13,000	△ 10,500	職員研修費 13,000円 [受講研修回数の減 △10,500円]
光熱水費 <93>	970,510	1,047,472	76,962	事務所の電気・水道料金 1,047,472円 [産業センター光熱水費の増 76,962円]
管理費計 <94>	17,928,599	19,283,913	1,355,314	

7 収支決算

I 一般正味財産増減の部

2. 経常外増減の部

(1) 経常外収益

(2) 経常外費用

公益目的事業会計・収益事業等会計・法人会計

単位：円

科 目	令和5年度 決算額(A)	令和6年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
(1)経常外収益				
経常外収益計 <95>	1,405,400	0	△ 1,405,400	経常外収益なしのため減 0円
(2)経常外費用				
経常外費用計 <96>	0	0	0	
当期経常外増減額 <97>	1,405,400	0	△ 1,405,400	

単位：円

科 目	令和5年度 決算額(A)	令和6年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
経常収益計 <98>	290,883,587	296,332,610	5,449,023	
経常費用計 <99>	285,478,652	299,383,018	13,904,366	
経常外収益計 <100>	1,405,400	0	-1,405,400	
経常外費用計 <101>	0	0	0	
当期一般正味財産増減額 <102>	6,810,335	-3,050,408	-9,860,743	
一般正味財産期首残高 <103>	245,485,652	252,295,987	6,810,335	
一般正味財産期末残高 <104>	252,295,987	249,245,579	-3,050,408	

II 指定正味財産増減の部

単位：円

科 目	令和5年度 決算額(A)	令和6年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
当期指定正味財産増減額 <105>	0	0	0	
指定正味財産期首残高 <106>	500,000,000	500,000,000	0	
指定正味財産期末残高 <107>	500,000,000	500,000,000	0	

III 正味財産期末残高

単位：円

科 目	令和5年度 決算額(A)	令和6年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要 (内訳・主な増減理由など)
正味財産期末残高 <108>	752,295,987	749,245,579	-3,050,408	